

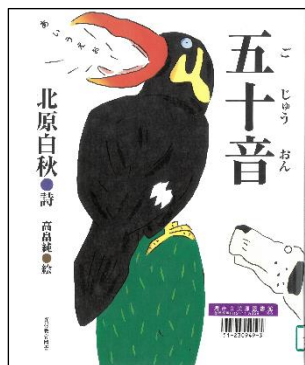
◆声に出して語ることの良さ◆



音読することは、身体のだどのようなところに作用するのでしょうか？
言語聴覚士の視点から、音読することで、口腔機能への効果や、今回の「五十音」やわらべうたの効果的な発声法について、学びます。

公益財団法人 浅香山病院
言語聴覚士 上野雅広さん

◆詩の音読◆



『五十音』

詩：北原白秋 絵：高畠純 光村教育図書
詩人・北原白秋の代表作のひとつ。
テンポの良さ、言葉の選び方が秀逸で、
アナウンサーの滑舌の練習などにも
用いられています！

【『五十音』の詩は、別紙にて配布しています】

◆わらべうた◆

実演：わらべうたの会こまめ

〔季節のわらべうた〕

♪たけのこめだした

たけのこ めだした はなさきや ひらいた
はさみで ちょんぎるぞ
えっさ えっさ えっさっさ

〔手あそびもまじえたわらべうた〕

♪かたどん ひじどん（埼玉のわらべうた）

かたどん ひじどん 手^てっ^く首^び てのひら
ちんちょう ちのすけ
背^せ高^{いたか} 医^い者^{しゃ}どん 小^こ僧^{ぞう} 小^こ僧^{ぞう}

※ 自分の肩から順におさえながらうたう。

「ちんちょう」は親指、「ちのすけ」は人さし指、
「背高」は中指、「医者どん」は薬指、
「小僧」は小指である。

『日本わらべ歌全集 8 埼玉神奈川のわらべ歌』

柳原書店 p94-95

◆ミニ講座◆

「語りとつながり」



地域のなかで語ることで、つながりの輪を広げることができます。認知症予防や家族への支援・地域への支援など最新研究をお聞きます。

図書館や地域のつながりの場を活用してみましよう。

大阪大学大学院老年看護学研究室

准教授 山川みやえさん

令和7年度 第2回

🌸音読教室「読む・詠む・語る」🌸

プログラム

- ◆みなさんの自己紹介、好きな詩の紹介など
- ◆音読教室
 - ❖言語聴覚士から「声に出して語ることの良さ」
 - ❖詩の音読
 - ❖わらべうた
- ◆ミニ講座「語りとつながり」
- ◆協力機関&学生さんからみなさんへ



2026.3.18

堺市立中図書館